

鳥取県病原微生物検出情報

(令和5年8月検出分；検体採取 令和5年7月～8月)

令和5年9月15日
鳥取県衛生環境研究所

1 インフルエンザ

臨床診断名がインフルエンザの検体1件（検体採取8月下旬）について、検査を行ったところ、インフルエンザ A H3 型が検出された。（詳細は表1のとおり）

表1 2022/23 シーズン鳥取県インフルエンザ検出情報

検体採取時期		検体採取場所	検出数	A型別、B系統別				備考
年	月日			A (H1N1)pdm09型	A H3型	B victoria	B 山形	
2023	4月3日	西部	1	1	0	0	0	
	6月16日	西部	1	0	1	0	0	
	7月5日	西部	1	0	1	0	0	
	8月22日	西部	1	0	1	0	0	
病原体定点PCR検査合計 (2023/4/3～現在)			4	1	3	0	0	

全国のインフルエンザ患者から分離・検出されたウイルスについては、国立感染症研究所の病原微生物検出情報（9月6日作成）によると、2022/23 シーズンは、AH3 型が最も多く報告されている。（図1）

2022/23シーズン

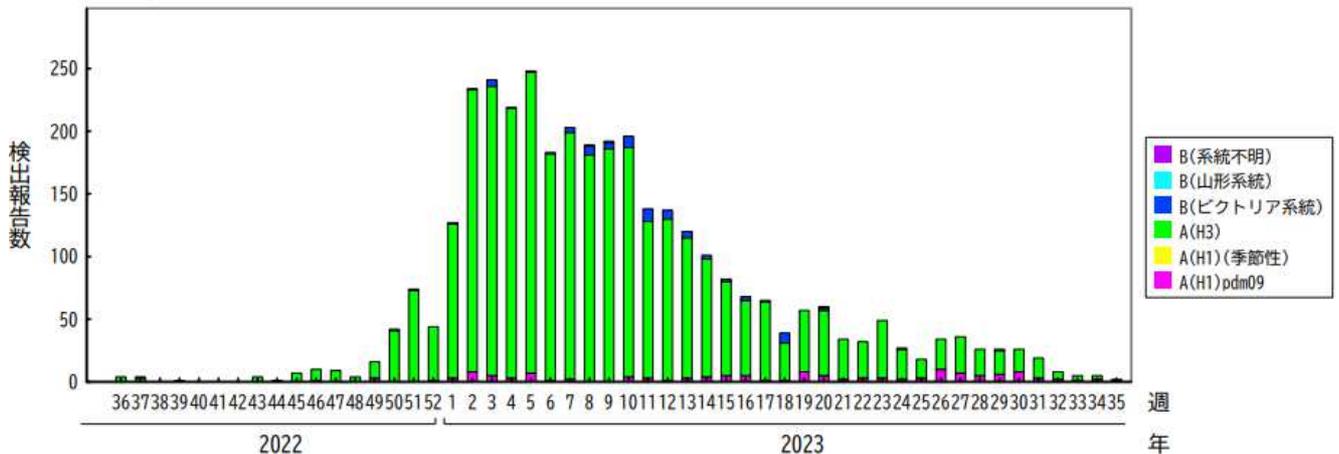


図1 週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数（2022/23 シーズン）

2 感染性胃腸炎

臨床診断名が感染性胃腸炎の検体3件について、検査を行ったところ、アデノウイルス2件、エンテロウイルス1件、エンテロトキシンA遺伝子（黄色ブドウ球菌）1件が検出された。（詳細は表2のとおり）

検出されたアデノウイルスは2型（C種）であった。アデノウイルスによる胃腸炎は主として31型（A種）、40型、41型（F種）が知られているが、今回検出した2型（C種）は扁桃に持続感染し、小児の糞便中に間欠的に排出されることが知られており、下痢症の病原体としての意義は低いと考えられる。

表2 感染性胃腸炎検査状況

検体番号	検体採取時期	ノロウイルス	サポウイルス	A群ロタウイルス	C群ロタウイルス	アデノウイルス	アストロウイルス	エンテロウイルス	エンテロトキシンA遺伝子 (黄色ブドウ球菌)
230024	7月上旬	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	検出
230027	7月上旬	(-)	(-)	(-)	(-)	検出 (Ct値32) 2型	(-)	(-)	(-)
230028	7月中旬	(-)	(-)	(-)	(-)	検出 (Ct値37) 2型	(-)	検出 (Ct値24) 型不明	(-)
検出計		0件	0件	0件	0件	2件	0件	1件	1件

(-)：未検出

※Ct値が20未満、20以上30未満、30以上の3区分で色分け（Ct値が低いものが濃色）をした。

3 無菌性髄膜炎

臨床診断名が無菌性髄膜炎の検体2件（同一患者からの検体）（検体採取7月下旬（検体番号230030、230031））について、アデノウイルス、エンテロウイルス、ムンプスウイルス、ヘルペスウイルスの検査を実施したところ、エンテロウイルス（型不明）が1件、コクサッキーA4型が1件検出された。

4 ヘルパンギーナ

臨床診断名がヘルパンギーナの検体2件（検体採取7月上旬（検体番号230025、230026））について、エンテロウイルスの検査を実施したところ、コクサッキーA2型が1件、コクサッキーB5型が1件検出された。

5 流行性耳下腺炎

臨床診断名が流行性耳下腺炎の検体1件（検体採取7月下旬（検体番号230029））について、ムンプスウイルス、ヘルペスウイルスの検査を実施したところ、ヘルペスウイルス4、6、7が検出された。

6 流行性角結膜炎

臨床診断名が流行性角結膜炎の検体1件（検体採取7月下旬（検体番号230032））について、アデノウイルス、ヘルペスウイルスの検査を実施したところ、ヘルペスウイルス7が検出された。